

バクトロンと精神波 (夜読)

政本和三

1. なぜバクトロンの存在が必要か?

- a. 重力波 (引力) が伝播速度を持っている。波の伝播媒質が
- b. 光の速度が一定である (真空中において) } 真空である。
- c. 大熊座才2星雲 (地球との距離2億4500km 後退速度4.5km/秒) の光のバクトロンの 5006 A. と 3726 A. の特徴がある。このドップラー効果では、バクトロンを通過するとき仕事をするものと仮定すると

$$\frac{p^2}{m} - F.S = h\nu \quad (\text{この式が光の粒子に通用できると})$$

$p = m\nu$ $F.S = \text{仕事}$ $h = \text{プランク定数}$
 $\nu = \text{振動数}$

d. バクトロンの粒子の大きさは電子の数倍分の一
 の空気の密度の約 500分の一

e. バクトロンの存在する場所と効果

1. 原子間の間に充満し結合力の引力の伝播媒質
2. 全ての真空中に存在し、引力、光、電磁波の媒体
3. 物体内のバクトロンの量が増えれば結合力の増え、バクトロンが減少すると結合力が弱くなる。物体は変形し易くなる。
4. 光、電磁波はバクトロンの密度の多さ、曲折する。

2. バクトロンの利用

1. 無動力機関、バクトロンを遮断すると引力がなくなる。上下の自由な進行方向に引力の取入れにより自由に浮遊できる。
2. 物体 (金属など) の中のバクトロンを排除してゴム粘土状にして成型加工が自由に行える。

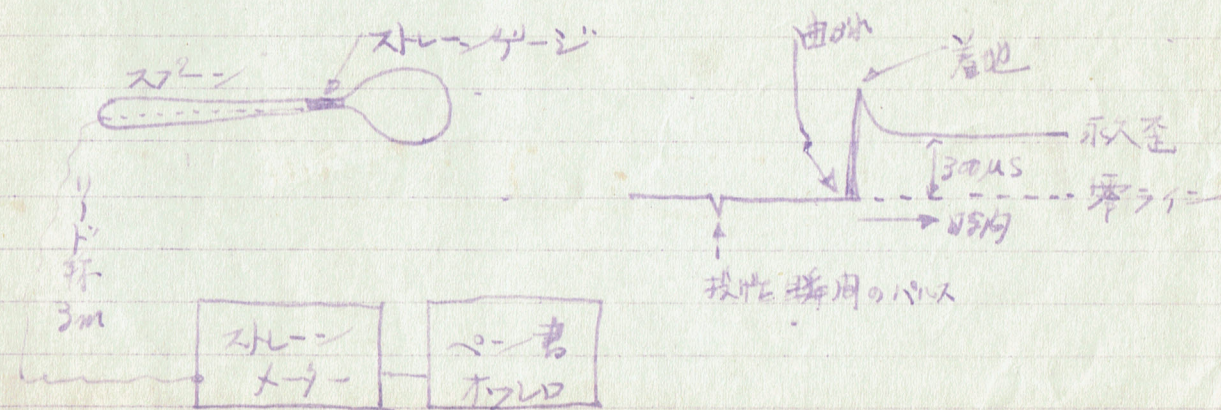
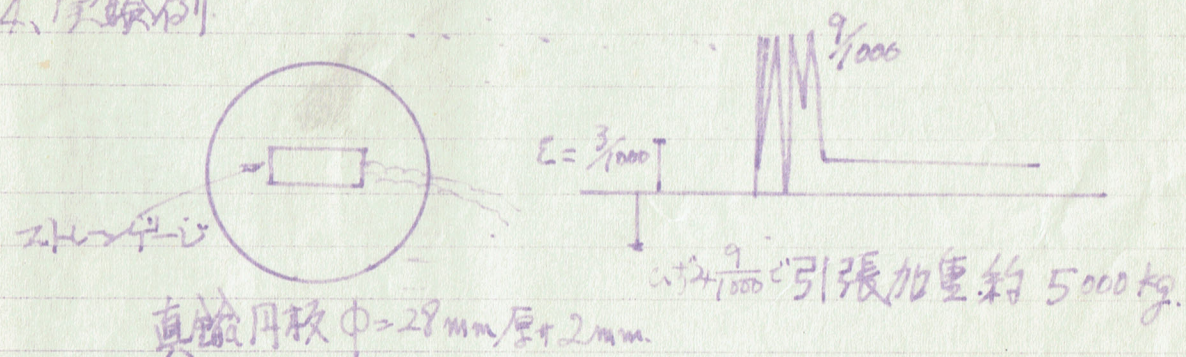
3. 精神波

- A. 全の人間、生物が発する波動性の粒子
- B. 波長は $10^{10} \sim 10^{11}$ cm で X線の最短波の $1/10 \sim 1/100$
- C. 精神状態により任意の点に集中するこができる。
- D. 精神波は、バクトロンを排除すれば集積することが出来る。
- E. 人体表面近くは精神波の放射によって電離されたオーラを発生。
- F. 磁界に影響を与える。(磁石による人間性測定に利用)

4. 金属はなぜやわらかくなるのか?

- A. 金属の原子間にある結合力を作っているバクトロンが精神波の浸入によって排除され、ゴム粘土のようになり自由に曲る。
- B. 精神波のリモートコントロールできる。
 (手の離れた物体を自分の意志によって制御できる。)

4. 実験例

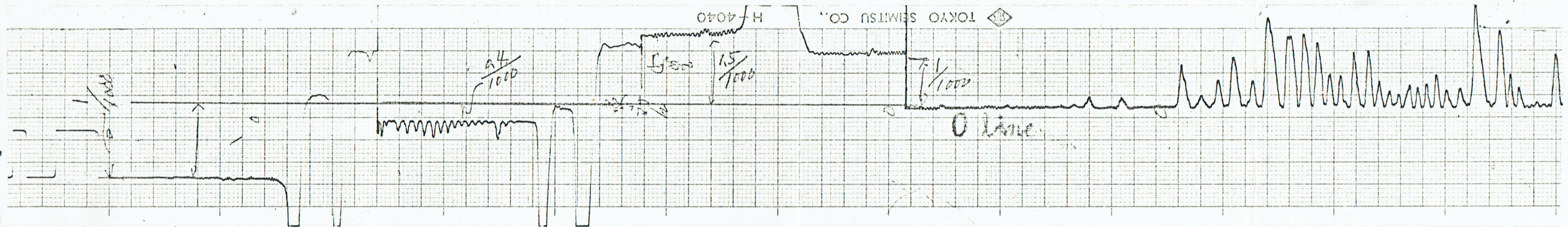


大脇-真忍

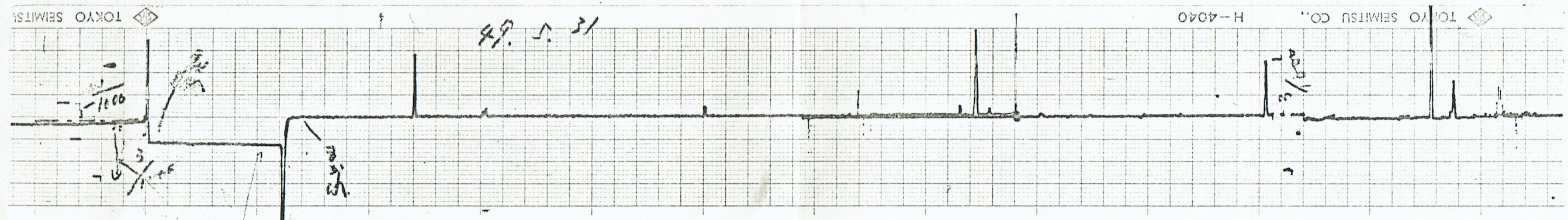
49.5.27

唇の動き

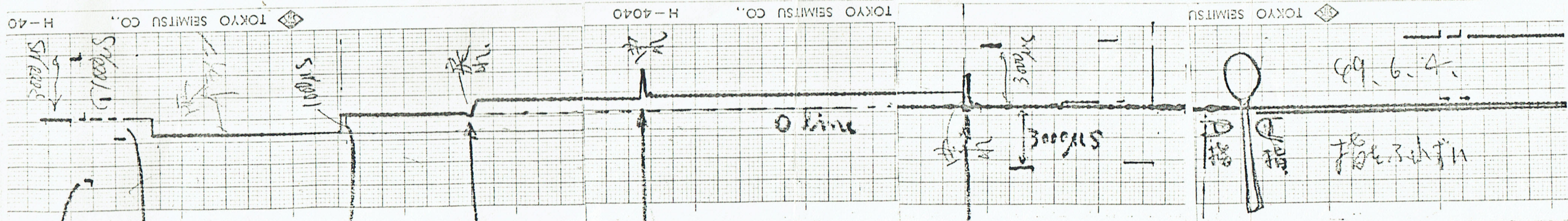
改木氏



$\frac{1.7}{1000}$ 反応曲線
 $\frac{4}{1000}$ 反応曲線
 反応曲線
 $\frac{1}{1000}$ 曲線
 指で曲線



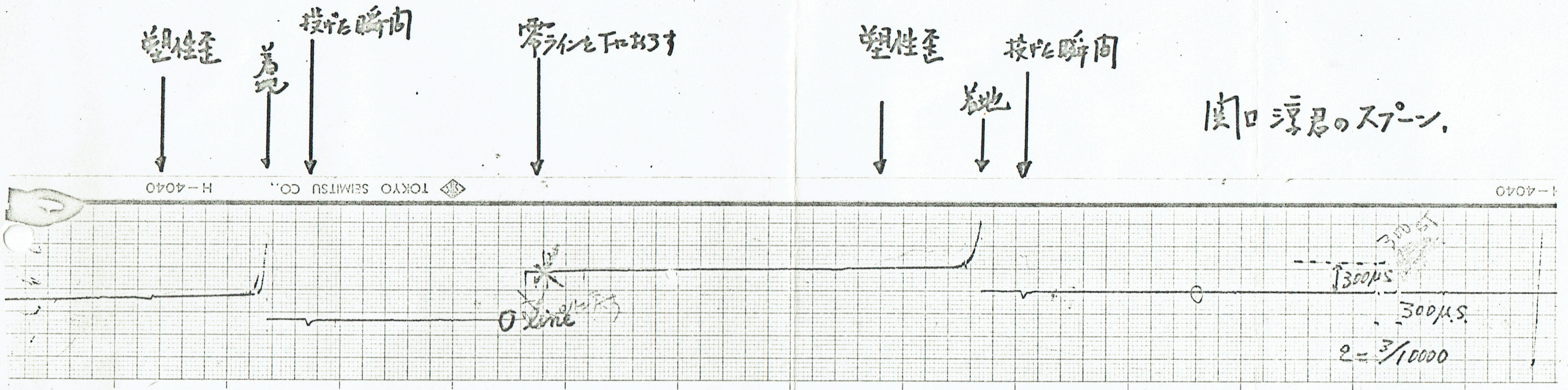
$\frac{1}{1000}$ 反応曲線
 $\frac{1}{1000}$ 反応曲線
 反応曲線
 曲線
 $\frac{1}{1000}$ 曲線



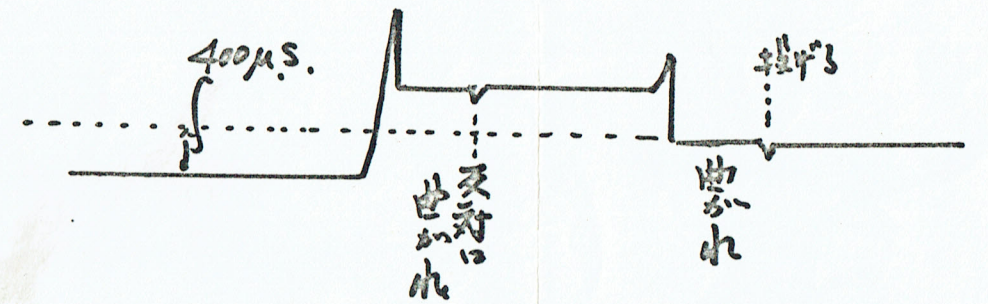
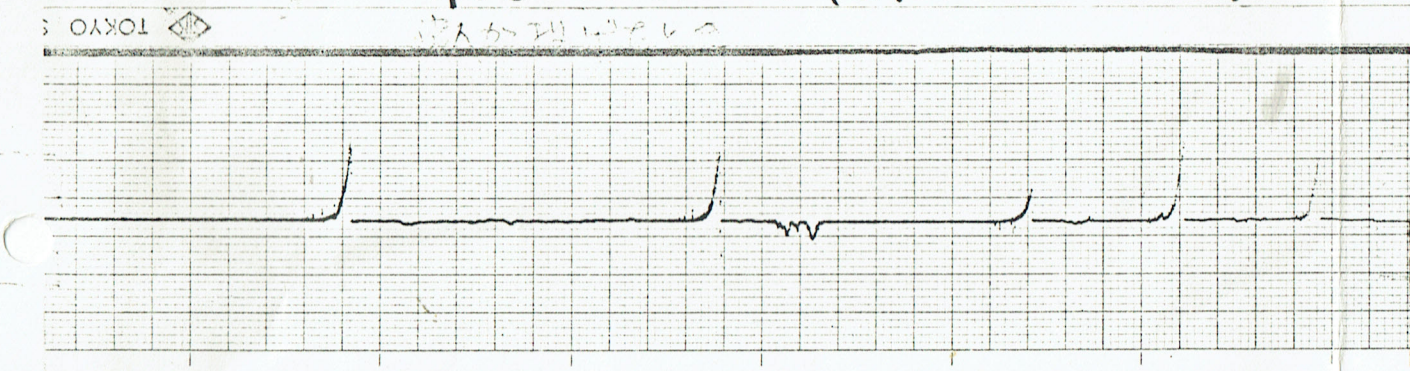
$\frac{3}{1000}$ $\frac{1}{1000}$ 1000us 反応曲線
 反応曲線 300us 300us 指 指
 指 49.6.4

昭和49年3月19日
 原V. 生田スゴウ

関口淳君のスポン



常人か投げたとき (同じスポンを使用)



押し当てたとき、必ず零線に戻ってくる。



校正 300µs